

# 交通渋滞の緩和

- 名古屋環状2号線の整備進捗に伴い、放射道路から環状道路に自動車の利用割合がシフトすることで環状道路内側の渋滞損失時間が減少
- 一部の暫定2車線の区間においては、主要渋滞箇所が残存しており、4車線化により渋滞の緩和が期待

○位置図



○環状道路の3機能

・分散導入機能

郊外から都心部への交通を分散して導入することで、都心部の交通集中が緩和されます

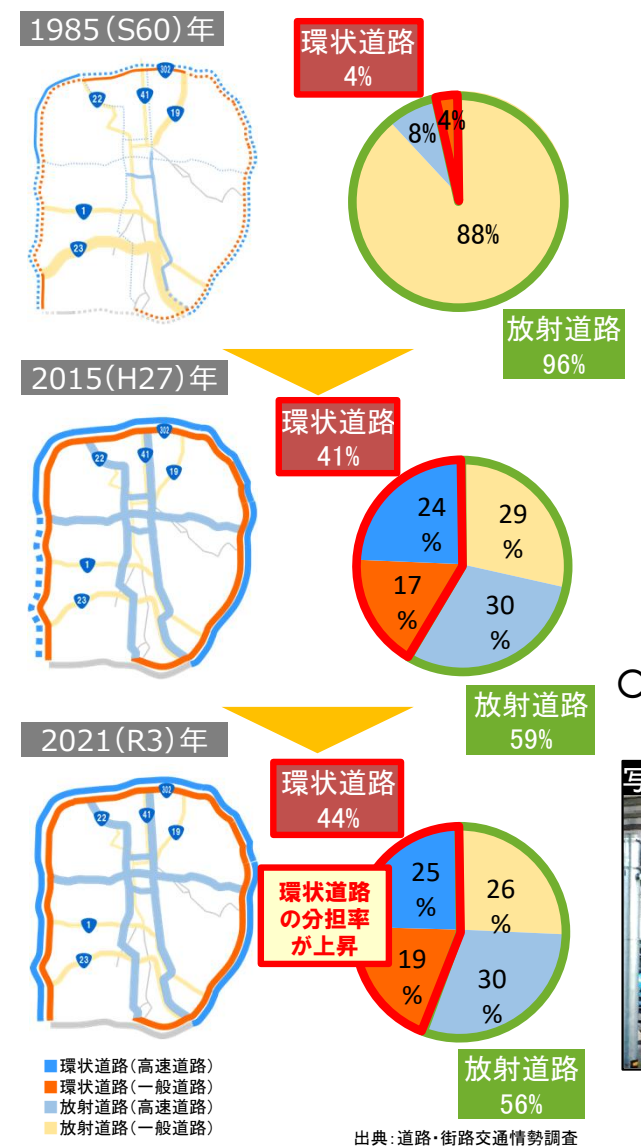
・バイパス機能

通過交通の都心部への流入を抑制することで、都心部の交通集中が緩和されます

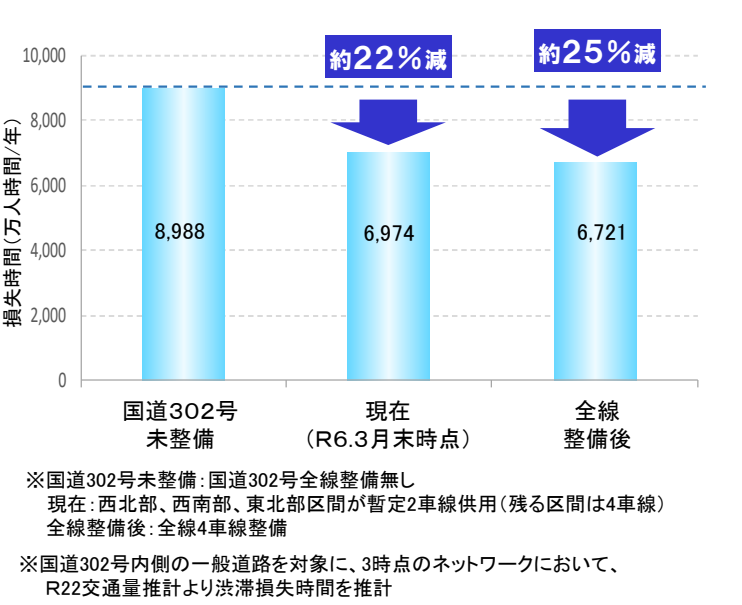
・迂回機能

災害や事故等による一部区間の不通にも速やかに迂回誘導が可能になります

○環状道路と放射道路の走行台キロ分担率



○名古屋環状2号線内側の渋滞損失時間



○名古屋環状2号線(暫定2車線区間)の渋滞状況

写真

近畿自動車道伊勢線 (R3年5月開通)

伊勢線開通後も渋滞が残存

梅之郷交差点付近を撮影(R3.7)

梅之郷交差点(南行)の渋滞長(m)

| 時期              | 渋滞長(m) |
|-----------------|--------|
| 伊勢線開通前 (R2年10月) | 400    |
| 伊勢線開通後 (R4年10月) | 180    |

※交通量・渋滞長調査結果より